

英語発音技能検定 EP-Pro 「特級」 合格体験記

ゴーン恵美

【初めまして!】

「発音が重要視されていない気がする・・・」

「使える英語、伝わる英語には、正しい発音は欠かせないはず・・・」

「確かにカタカナ付き教材は随分減った・・・それだけでも良しなのか・・・」

人口約 96000 の小さい田舎街ではありますが、世界初の海上空港、長崎空港のあるとても便利な街、長崎県大村市にて英語・英会話指導に関わらせていただき 30 数年が過ぎました。

アメリカ人の夫と共に段階を経た内容で進められているメイン教室「恵美&ジェフゴーンえいご教室」そして、3年目を迎え、この夏若手のアメリカ人の先生



を迎えたサテライト教室、体験を通してながら英語に触れる「ENGLISH CORNER with カイ」共に、使える英語を育てるために様々な工夫で生きた英語への気付き、そして、そのために必要な良質多量な英語のインプット、ご家族様と一緒に愛情あふれる中で英語インプットを「おうち英語」と名付け、その必要性を伝え続けています。

また依頼に応じた電子執筆では、英語教育の動きについて感じる事や意見などを発信する機会となっています。

【発音が軽視されては居ないだろうか】

以前から気になっていた、「発音がそれほど取り上げられない事」に更に具体的に気になり出したのは、日本の英語教育大改革とざわめき出した頃だったでしょうか。4技能5領域、「聞く」「話す」「読む」「書く」このうち「話す」が「や

り取り」そして「発表」に枝分かれしたという事は非常に喜ばしい事で、その事からも、「話す」技能への注目度を感じます。

しかしながら、一般的に話す事が苦手な日本人だから、発音に注意を払うレベルまで達しないのか、これだけ日本人のスピーキング運用力の必要性が語られる中、重要視すべき発音が軽視されてはいないだろうかと疑問を覚えるようになりました。



確かにコミュニケーションは言葉だけではないですし、言語でのコミュニケーションは全体の40%にも満たない。他は非言語コミュニケーション、つまりジェスチャーだったり、顔の表情だったり、背中を見ても元気がなさそうな様子に気が付いたり、生き生きとした目の輝きだったり・・・「目は口ほどにものを言う」とも言いますよね。

非言語コミュニケーションが締める割合は確かに多く、もちろん、そこに正しい発音の必要はありません。もしかしたら、こういったことも発音が重要視されない傾向にある理由なのかもしれませんね。

それに加え多くがコンピューター化、翻訳さえも機械に頼る時代です。しかしながら、どのような現場においてもコンピューターがダウンした時の私達の慌てぶりと言ったら半端なものではありません。予測のつけにくいこの世の中で、落ち着いて行動できるように居たいものです。

【違いへの気付きと取り組み】



その日本語と英語の言語差の開きは、大袈裟なようですが天と地のように感じます。どちらかと言うと単調であり高低言語である日本語を母語とする私達にとって、楽しいリズムの強弱言語である英語の音は、そう簡単に私達の操れるものにはならないようです。音に対する学習意欲の高まる時期、音の敏感期を逃さず良質多量の英語インプットに心がける

事が可能であれば、大変理想的な事でしょう。

実際、発音と簡単に一言で表現しますが、口の形、つまり口の周りの筋肉の使い方、舌の力の入れ方やその位置、息の吐き方やその量など、日本語とは全く異なり、発音は訓練と言った方がいいところもあります。

ですから、音の敏感期をうまく活かしたインプットに欠ければ、特に中学・高校生以上になると、それなりの取り組みが必要になります。そこには正しい発音を習得したいという本人の意識も強く求められます。

正しい英語発音の習得には、通じない・・・という経験もその成長を促してくれますよね。良い失敗を体験できるように、どんどん挑戦を見付け、取り組んでほしいなと思います。どんな失敗も次へ繋がるようになっていきますものね。



余談になりますが、私自身が英語に興味を示したのは、小学校 4 年生頃だったと思います。ご近所に訪問していた年頃は同じくらいのアメリカ人男子の道端での一言「car!」 車を指さしながらのその一言が日本語ではないという事に、彼の様子からも、異なる言語の響きからもすぐに気が付きました。

私はこの時、言語の差に、その響きの美しさに瞬時に魅了され、一気に興味を示したわけですが、日本人だから英語を学ぶ必要はないという母の一言にも妙に納得したという、今思えば、英語教育が、深く関わりを持たせてもらっている私のフィールドだからこそ、その出来事がいつも笑みのこぼれる母と私の愉快的思い出となっています。



英語は習わないで良いという母の一言が、いいあんばいに私のハングリー精神に働きかける事となったその出来事に、大きな意味があったと強く感じています。なぜならば、その後の私は米軍放送を聴き続ける事で良質多量の英語インプットを成功させる事となったわけですから。母に感謝です。(*^▽^*)

その後は両親の計らいで、私にとっては実践の場と言える学校環境を与えてもらったわけですが、私の経験を後から振り返った時に、改めて、英語運用能力においても発音習得においても、そのインプットがなかったならば、想像以上に四苦八苦していたのではと感じます。

必ずしも長期海外滞在が必要なわけではない、必ずしも優秀な指導者が必要なわけでもない・・・まずは、良質多量の英語インプットの必須性、そしてアウトプット、その実践のタイミング、その機会を逃さないように。これらの事は、英語習得において重要な一連の流れだと主張したいと思います。



また、言語にしても文化にしても、まずはその違いを知る事、そして発信する度胸こそが英語習得には重要な必要要素だと実感しています。

実はこの夏に出版させていただきました電子書籍「君の中のえいご」に、私の体験談、それからの多くの想いを楽しく記しておりますので、よろしかったら開いて見てくださいね。

【指導者として在りたい姿 初めての挑戦 EP-Pro】

多くを熱く語ってしまいましたが、そんなこんなで、当教室から、英語を自分のものにしたいとする皆さんへのお声かけは・・・

「お教室は間違えるところ」
「お教室は挑戦するところ」
「お教室は昨日の自分を超えるところ」

個々だったりお教室だったり、スタイルはそれぞれだとは思いますが、良質多量のインプットにより、「英語」が溜まり、使える英語、伝わる英語の為の土台形成が成される。それからです。どう導いて行くのか。特に専門として関わる私達英語指導者の在り方を考えます。

ある程度の伝わる英語を操れても、それが指導となると別物。自身の発音能力を客観的に見直したい、そして磨きたい、英語指導に当たる皆様の力に役立ちたいと思いが増したり・・・様々な疑問や思いをきっかけに、ネット検索をし最初に出会ったのが、この「英語発音技能検定 EP-Pro」です。

自身の都合に合わせ、与えられた期間内に動画に収め送信します。なんと取り組みやすいスタイルなのだろうと、迷わず挑戦することに！

まずはどんなものかと2級に挑戦。

簡単な自己紹介に始まり、その試験のアプローチの仕方に潜む「探り」には感動を覚えたくらいです。試験の内容も自身の発音指導のヒントになるわけで、実際に指導をしている私自身の丁寧な復習となり、新しい指導コンテンツへの導きさえ感じたくらいです。

届いた丁寧な結果から、迷うことなく1級、特級と次々と受験させていただきました。ほんの少しの緊張とどっしりと度胸を構えた挑戦、とても生き生きとした自分を発見する事にもなったようです。詳しい説明からアドヴァイスまで親切なご指導に、やはり、何事も挑戦とは素晴らしい事だと感じました。

試験項目に沿って一気に動画に収めるようになっていますが、最初から最後まで続けて一気に動画に収める事は、とても良い事だと思いました。途中、あっちが良かったりこっちが気になったりで、数回撮り直しをする事になりましたが、そうする事で、自身の発音自体がしっかりと自分のものになっているか否かを知る事もできたように思います。

毎年、中学・高校生の英語弁論暗唱大会の審査をさせていただく貴重な機会をいただきますが、自身の発音を動画に収め、自身を審査する感覚が非常に新鮮でした。色んな気付きがあるものですね。このような指導者の磨きは常々必要だとは感じておりましたが、一気に具体化された感じがあります。

様々な民間試験が存在する中、直に「先生の質を上げる」そしてそれは素晴らしい底力となり日本中の子供達の英語のレベルを上げるという菅沼先生の働きかけにも心から同感しています。

菅沼先生もおっしゃっていますが私の言葉でお伝えさせていただければ・・・
「日本の英語力の明暗は指導者の学び成長にかかると、そこから始まる・・・」

【言葉の意味】



人間として特権のひとつ。
それが「言葉」でのコミュニケーションです。

国連に加盟している国は190を超え、
世界には色々な言語が存在しています。

学者によって言語数の見方、表現には
異なりがある様ですが、細かく分けると
6000語を超えと言われています。

私達にとって、言語とは何なのか。当たり前
の存在で当たり前に使っているものでは
ありますが、言葉には文化が潜んでいま
すから、大切に扱われるべきものと
常々そう思っています。

英語は美しい音の言語、日本語は美しい
文字の言語、いつもそんな風を感じて
いますが、違いを感じてそれを認め、
それぞれの良さを誇りに感じる事は
生き方にも比例するようです。

国際結婚の私は、その言葉や言葉の
使い方に感動したり、反感を持ったり
と毎日が面白い国際交流ですので、
その辺りに敏感なのかもしれません。
(笑)

【これからの学び方】

教える事も大切な私達の役目では
ありますが、子供達と一緒に楽しみ
学ぶ事、共に発見を喜ぶ事、学びの
喜びを周りの大人たちが示す事で、
子供達は自然に、そして素直に
様々な学びを受け入れていくのでは
と思います。

子供達にとっても大人達にとっても、
このような学びや歩みほど大切な
ものはないのかもしれません。

英語発音は、たとえ長期海外滞在
など、なかなかできない貴重な
理想的な体験をなさった方にとっ
ても、苦手だとして挙げられる
最も大きな分野です。

だからこそ、英語習得に必要な
良い材料なのです。



子供達と一緒に学べるという事ですから。(*^▽^*)

子供達と一緒に喜びを感じれるという事ですから。(*^▽^*)

指導者と言われる人達が、子供達と同じラインに立ち学べる事は素晴らしい事であり貴重な事です。違った角度から子供達を刺激し、それは大変良い事だと思います。

発音だけは教えられない・・・と頭を痛められる保護者様にもご安心いただき、お子様方と一緒に、英語発音習得の同じラインに立ち、親子の温かな時間を楽しく過ごしてほしいと思います。

親子で楽しみながら発音を
チェックできるそんな楽しい
検定があっても親子様そ
ろって励みになるのかもしれ
ませんね。

子供達に教わる事って多い
ものですが、発音練習もそ
のひとつに加わる事は間違
いなくと思います。

私共、親であったり指導者
であったり、そんな私達が、
子供達と一緒に学べるひと
時が増え、きっと楽しいひと
時になるはずですから。



また、特級に合格をいただいたら、同じ力を持ち合わせたもの同士が更に磨きをかける学びの場があったらとても嬉しく思います。

あちらこちらへと体験談が飛んでいきましたが、「特級」の合格をいただくまでに、その後に感じた全てを記させていただきました。

今後の発音検定 EP-Pro のご成長、ご活躍を心から楽しみにしております。

「特級」合格をいただけました事は、色々な気づきを再確認させていただいた機会にもなりました。人に気づきや自信を与えるような試験をクリエイティブに

きました菅沼先生に改めて感謝申し上げます。

ゴーン恵美